

○経済効果推計額

51 億 4, 600 万円

<内訳>

1 2019 年度 SSC の誘致・支援大会におけるスポーツイベント開催に伴う経済効果

・経済効果額 **26 億 2, 100 万円**

(開催件数及び算出人数 36 件、参加者総数 97, 132 人=選手関係者 24, 068+観覧者 73, 064 人)

・選手関係者・観覧者一人あたりの経済効果額

選手関係者	単価 (円)	備考
直接的経済効果額	23, 669	過去 5 年間に開催された 86 大会 (SSC 誘致/支援大会) の経済効果推計額の平均額
間接的経済効果額	28, 509	
合計	52, 177	

観覧者	単価 (円)	備考
直接的経済効果額	8, 421	過去 5 年間に開催された 38 大会 (SSC 誘致/支援大会) の経済効果推計額の平均額
間接的経済効果額	10, 270	
合計	18, 691	

※ 1 の経済効果額は、選手関係者及び観覧者 1 人あたりの経済効果額に、2019 年度に SSC が誘致・支援した大会・イベントの選手関係者数及び観覧者数に乘算して算出しました。(※誘致大会のうち令和元年度東日本台風及び新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった大会は除く。)

※ 選手関係者及び観覧者 1 人あたりの経済効果額は、SSC が誘致・支援した大会・イベントの参加選手や観覧者への消費額アンケート調査等をもとに、個々の大会・イベント毎に基礎調査として算出した経済効果額の平均額 (過去 5 年間) です。

2015 年度から 2017 年度までの個別大会・イベントの経済効果額は、当時の任意団体：さいたまスポーツコミッション事務局であった公益社団法人さいたま観光国際協会が「日本コングレスコンベンションビューロー」作成の「経済効果測定ハンドブック」により算出しました。

2018 年度から 2019 年度までの個別大会・イベントの経済効果額は、尚美学園大学 総合政策学部 江頭満正 准教授が算出しました。(裏面参照)

※ 選手関係者数・観覧者数には、主催又は共催事業は含まれていません。SSC が誘致又は支援した大会の人数です。

2 主催事業「2019 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム (2019/10/27)」における経済効果

・経済効果額 **25 億 2, 500 万円** (来場者推計数 106, 000 人)

※ この経済効果額は「平成 27 年度産業連関表 108 部門」により算出しています。

3 主催事業「第 8 回さいたまマーチ～見沼ツデーウォーク～ (2020/3/28・29 予定)」における経済効果

・経済効果額 **0 円** (新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止)

<2019 年度個別大会・イベントの算出論拠>

算出根拠

観客旅費／浦和駅（さいたま市役所）からさいたま新都心（開催地）までの交通費（2019/10/1 時点）

観客宿泊費／2019 年度さいたま市開催スポーツイベントアンケート調査結果より

選手関係者消費／2019 年度さいたま市開催スポーツイベントアンケート調査結果より

主催者事業費／主催者提供

生産波及／MICE の経済波及効果測定のためのモデルを使用し、平成 23 年さいたま市産業連関表に基づき算出

経済波及効果算出責任者

尚美学園大学 総合政策学部 准教授 江頭満正（えとう みつまさ）

TEL 049-246-2700 FAX 049-246-2531 E-mail academic@etoh.me



一般社団法人さいたまスポーツコミッション 事業企画課

埼玉県さいたま市浦和区仲町 4-2-20 エコ計画浦和ビル 2F

TEL 048-762-8334 FAX 048-762-8474 E-mail support@saitamasc.jp